

# 水産業再生ニュース（第 15 号）

平成27年12月4日

仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 乾ノリの入札について

県産乾ノリの初入札会が全国に先駆けて11月19日、宮城県漁協塩釜総合支所乾ノリ集出荷所で行われました。今漁期は、水温が順調に低下し生育環境が早めに整ったことから、出荷されたノリは震災以後最多の約41百万枚（前年比224%）、金額が約4億円（前年比215%）と好調なスタートを切りました。

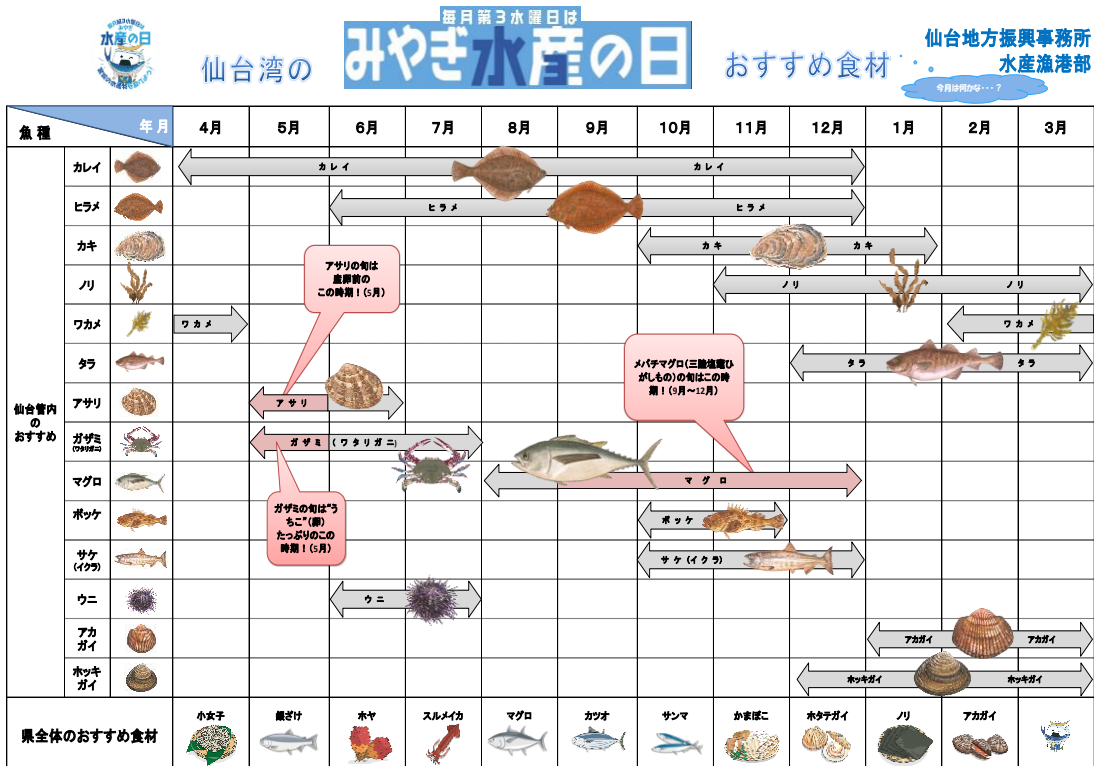
今漁期の入札会は来年4月頃まで行われる予定で、第2回目は11月27日に行われました。

乾ノリ入札状況

	数量(千枚)						金額(千円)					
	H26		H27		前年比		H26		H27		前年比	
	全県	管内	全県	管内	全県	管内	全県	管内	全県	管内	全県	管内
第1回目	18,339	15,303	41,149	30,054	224%	196%	184,063	157,670	396,020	297,880	215%	189%
第2回目	12,065	7,546	11,327	8,681	94%	115%	108,538	71,053	106,211	85,105	98%	120%
累 計	30,404	22,849	52,476	38,735	173%	170%	292,601	228,723	502,231	382,985	172%	167%

## 2 「みやぎ水産の日」について

- 毎月第3水曜日を「みやぎ水産の日」と定め、宮城県産の水産物・水産加工品のPR・販売を推進しています。
- 今月は12月16日が「みやぎ水産の日」です。
- 今月の管内のおすすめ食材は、「かれい」、「ひらめ」、「かき」、「のり」、「まだら」、「まぐろ」、「さけ（いくら）」、「ほっきがい」です。



### 3 魚市場の水揚げ状況について

- ・塩釜魚市場は、7～9月の鮪はえ縄漁船、旋網漁船の水揚げが好調で、1月～10月の水揚げは、数量が14,268トン（前年比104%）、金額が7,892百万円（同119%）となりました。
- ・七ヶ浜魚市場はマダラ、ヒラメ、カレイ類、カニ類の水揚げが好調で、1月～10月の水揚げは、数量が587トン（143%）、金額が404百万円（同128%）、閑上魚市場は主力のアカガイに加え、ヒラメ、カニ類の水揚げが好調で、1月～10月の水揚げは、数量が87トン（同121%）、金額が125百万円（同109%）、亶理魚市場はマダラ、ヒラメ、カレイ類、カニ類の水揚げが好調で、1月～10月の水揚げは、数量が1,005トン（同132%）、金額が501百万円（同133%）となり、いずれの魚市場も前年を上回りました。

仙台地方振興事務所水産漁港部管内 魚市場水揚げ結果(平成27年1月～10月) 単位:t, 千円

期 間		塩釜魚市場		七ヶ浜(花刈)		閑上魚市場		亶理魚市場	
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
10月	H27	1,626	1,017,017	46	30,828	13	16,280	187	91,943
	H26	2,281	1,303,877	35	26,084	16	25,452	145	77,931
	前年比	71%	78%	130%	118%	84%	64%	129%	118%
1～10月計	H27	14,268	7,892,890	587	404,193	87	125,460	1,005	501,235
	H26	13,764	6,648,286	409	315,209	72	115,282	763	377,871
	前年比	104%	119%	143%	128%	121%	109%	132%	133%

### 4 水産物の放射性物質測定結果について

平成27年4月1日から11月17日にヒラメ、ノリ、カキ、アユなどの水産物1,422検体について放射能物質を測定した結果、イワナ2検体を除く検査品目は基準値を下回りました。

ウナギ、ヤマメ、スズキは、安全性が確認されたことから、下記のとおり出荷制限が解除されました（平成27年4月以降分）。

なお、海産魚類についてはクロダイ、内水面魚類については一部の河川等でのアユ、イワナ、ヤマメ等は引き続き出荷制限等の措置が実施されています。

平成27年4月以降に出荷制限等が解除された水産物

対象種	対象区域	出荷制限月日	解除月日
ウナギ	阿武隈川(丸森町内の支流を含む)	平成24年7月25日	平成27年7月9日
ヤマメ	宮城県内の阿武隈川(支流を含む。ただし、白石川を除く(支流を含む))	平成24年4月20日	平成27年9月30日
スズキ	宮城県沖の全海域	平成24年10月25日	平成27年11月20日